



No.171 2025. 9

発行 真言宗豊山派
北田山寶泉寺
所沢市北岩岡130
編集 色摩真了
ホームページアドレス
takaranoizumi.com

寶泉寺 学校になる



明治9年、ここ寶泉寺の旧本堂（現大師堂）を仮校舎として、その周辺地域に初めて公式な学校が開かれました。校名を武蔵野学校といい、西富小学校の前身です。今年は明治9年から数えて150年という節目の年でもありますので、この機会に学校としての役割を担っていた寶泉寺を紹介したいと思います。

はじめに、当時の状況を記録した『武蔵野学校記』の一部を引用してみましょう。

「高松定矩（さだのり）藩主に従い川越に移る 明治9年10月熊谷県下神米金村連合村に聘せられ、父子（定矩・義太郎）共に郷党育英に従事す 時に地方民頑迷にして新政を解せず、加えて旧寺子屋師匠の失職せるもの等学事を誹議し 校舎建設等容易ならず。即ち、定矩、義太郎 無住の寶泉寺を以て教場に利用し、床破れ、壁落ち、蜘蛛網、埃塵の裡、数十名の児童を引き受け、熱心に教授す（後略）。」



高松義太郎先生

子どもの教育を充実させるため、高松定矩、義太郎親子が招聘され学校を作ろうと試みますが、どうやら地域住民はあまり歓迎していなかったようです。これは人々の意識が低かった訳ではなく、子どもが重要な働き手であった当時の社会状況を顧みれば当たり前のこと。今では考えにくいことですが、ほんの150年前、教育を受ける権利はまだ確立され

ておらず、教育が人類全体の発展に寄与するという発想も広まっていなかったことが伺えます。

高松先生はこの状況をふまえて、当時無住（住職がいないこと）であった寶泉寺をひとまずの校舎として学校を開きます。そのころの寶泉寺



高松家の墓（左奥）と揭示板

はずいぶんと荒れ果てていたことが資料から読み取れますが、それでも教育を諦めずに奮闘する高松先生らの熱意を想像するとグッとくるものがあります。そして、そのような状況下であっても、最終的には数十名の児童が学校に通っていたようですから、潜在的な受容は十分にあったことがわかります。

その後、6年経った明治15年、寶泉寺から数百メートル離れた場所に無事新校舎が建設され、武蔵野学校はこの地域における初等教育の礎となります。さらに大正12年現在地に移転、西富小学校と名も改められ現在に至っています。

高松先生親子は数十年に渡り武蔵野学校で活躍され、住民の皆に慕われながらこの地で最期を迎えます。ここ寶泉寺には定矩、義太郎、定矩の妻が眠っており、大師堂の左脇を抜け少し進んだところに先生一家のお墓があります。先生の偉業を讃える立派な揭示板が目印ですので、関心のおありの方はどうぞお参りください。

さて、令和7年は西富小学校創立150周年記念行事がいくつも企画されていて、私も事業実行委員会の一人として様々なイベントに関わっています。先日は、西富小学校の現6年生が自分たちで記念イベントを企画するとのことで、学校に赴き応援のメッセージを送って参りました。



住職西富小訪問の様子

学校創立150年という節目に、寶泉寺が現代教育の幕開けに関わっていたことを誇りに思いますし、その活動が今も受け継がれていることをとても有り難く感じています。

四国通路 最終回

紀伊半島は幾重にも連なる山岳地帯で古くから霊地が定められていました。そして京阪神と中京地区に挟まれる地の利も幸いして隆盛がつづいてきたのではと思います。

高野山、熊野三山、吉野の大峰山、伊勢神宮を縦横に結ぶルートが「熊野古道」であり、今に遺産として残されているのはこの地帯は温暖で急峻な山岳もなく参詣の往来が比較的容易だったからでしょう。さらに温泉が各所に湧き、旅の疲れも癒やされたのかもしれない。

四つの霊場は仏教、神道、修験道が混然一体となり神仏混淆の典型。今でもその様相は十分確認できるところで、特に那智大社と西国一番札所、青岸渡寺はまさに隣

り合って鎮座され、明治以前は一体のものでその典型でした。大社へはうっそうと杉の大木に囲まれた石畳の古道と階段を上り詰めたところが那智大社。檜皮葺きの屋根と美しい朱色と白い壁面、整然とした美しさがあります。朱は魔除けとその



那智大社

塗料に防虫、防腐の効果があると言います。さらに奥まった所にある鳥居のような所をくぐるとそこは青岸渡寺です。南紀で一番古い建造物重要文化財指定だそうで、こちらは古色蒼然とした美しさで、西国観音霊場第一番札所で雰囲気が大きく異なります。

ところで一般的に神社は本殿と拝殿があり、お参りは拝殿前ですませますので奥の方までうかがい知ることは出来ません。一方寺院の本堂は内陣、外陣と分かれています



青岸渡寺

がまとまってお本尊やその他の荘厳がなされ本堂前の階段を上り、向拝（本堂前の屋根が前に伸びている部分）に入ればお本尊や周りのしつらえもしっかり確認することが出来ます。さてこの違いは何だろうと。神仏分離令以降は別法人となった今、二者の関係は今どのように続いているのかなとこれも興味のあるところです。



施餓鬼会ミニコンサート

報告



本年も施餓鬼会に伴い音楽会が開かれました。一昨年はトイ（おもちゃ）ピアノのソロ演奏、昨年は金管楽器隊7名によるコンサート、本年はチェロ四重奏グループ「クーニマス」による演奏会が開催され、お子さんもいつもより多く参加してくれました。来年のお施餓鬼も何か企画したいなと考えています。



るりの会無事終了！



寶泉寺近隣の小学生がお寺に泊まるイベント「るりの会」が今年も8月23日24日の一泊で開催されました。流しそうめん、怪談、肝試し、花火と、子どもたちは大はしゃぎ。参加児童は18名と少し小規模となりましたが、わいわい楽しく過ごすことができました。また、大人同士も新しい交流ができ、とても充実した時間となりました。

地域猫活動ご支援のお願い

寶泉寺の近隣では少なからず病気やケガなど不幸な境遇にいる猫を見かけます。そんな猫ちゃん救済事業として、境内の六地藏に募金箱、大師堂右側の休憩所にエサや物資の支援箱が置いてありますので、もしよろしければご協力ください。



編集後記

- ・寺子屋が有名ですが、寺院はかつて学びの場でもありました。寶泉寺には現在も小学生が課外授業で見学に來たり中学生の社会体験が行われたりしています。教育に関わり続けるのもお寺の大切な役割だと今回のるり光を書き改めて思いました。
- ・来年、令和8年3月に狛江市で久しぶりの声明コンサートが開催される予定です。詳細は「るり光」年末号で。(真了)
- ・一生に一度は伊勢参りと言われた江戸時代、半年に460万人が訪れたと記録があるそうだ。その一部は熊野まで足を伸ばしたのではなかろうか。熊野道も賑わったに違いない。
- ・神経痛に悩まされ続けている。出先でのこと、痛みで座り込んでいたら「大丈夫ですか」と声をかけていただいた。自分にとって痛む前に座って体に余裕を与えておくのが秘訣なのだがその場所がなかなか無い。出かけると、座る処がないかとキョロキョロしてしまう(琴)。Sep. 16, 2025